

がん化学療法処方

プロトコール名: 大腸癌ペバシズマブ(5)+FOLFIRI療法(1クール14日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日 d1	薬品名	投与経路	投与時間
	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	—
	② ペバシズマブBS点滴静注5mg/kg+生理食塩液100mL 初回は90分投与 2回目以降は問題なければ60分投与可能 さらに問題なければ30分投与可能	div	90分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	④ パロノセトロン静注0.75mg+デキサート注射液6.6mg+5%ブドウ糖液50mL	div	15分
	⑤ レボホリナート点滴静注 200mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL	div	120分
	⑥ トポテシン注 150mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL レボホリナートとトポテシンは同時に滴下開始	div	90分
	⑦ フルオロウラシル注 400mg/m ² + 5%ブドウ糖液50mL 点滴50mlにして5分で急速点滴	div	5分
	⑧ 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑨ フルオロウラシル注 2,400mg/m ² + 5%ブドウ糖液100mL 携帯用ポンプで全量100mlに調製	div	46時間

プロトコール適応時表示コメント

ペバシズマブを含むレジメン投与後の増悪症例では、適応不可。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)